兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第 2 バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。2022 年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

これから少しずつ サンパウロ発行「第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修」を読みやすく解説します。私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、ご一緒に学びましょう。尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

典礼憲章 ① ～第二バチカン公会議公文書：聖なる典礼の本質と教会の生活における典礼の意義より～

（【典礼】とは、キリストの祈りに与ることです。）

【典礼】は私たち信者を力強く育ててくれるものです。また、まだ信者ではない人々に対しては「神様からのお恵み」と「教会の働き」を示すのに大いに役立つものです。

神様は御子イエス様を私たちのために送ってくださいました。そのイエス様は私たちのために命を捧げられ、その死と復活によって私たちに永遠の命をお与えくださいました。
その救いのみわざとみことばが「素晴らしい秘跡である教会」を誕生させ、私たちは礼拝ができるようになりました。

イエス様は

- すべての被造物に福音を述べ伝えるため
- 私たちを悪霊と死から解放し、神様の国に招かれることを告げるため
- 救いのわざが行われるため

ご自分が神様から派遣されたように、聖霊に満たされた使徒を派遣されました。
そして、洗礼により私たちも過越の秘儀（イエス様の受難と復活）につぎ木され、神様がお求めになる真の礼拝者となります。教会はイエス様のご復活を祝うために「ともに集うこと」を欠かさず、聖書を読み、ミサを行い、神様に感謝します。

イエス様は今も司祭の奉仕を通して、司祭のうちにおいでになります。ですから、私たちが洗礼を受けるとき、その洗礼はイエス様ご自身が授けてくださっているのです。同時に、イエス様はご聖体という形でもおいでになります。私たちがご聖体を拝領するとき、私たちの内にイエス様が来てくださるのです。また、イエス様はご自身のことばの内にもおいでになります。聖書の「みことば」が読まれるとき、それはイエス様ご自身が語られているのです。

わたしたちが神様を求め祈るときにも、賛美の歌を歌うときにも、そこにはイエス様がいらっしゃるのです。

また、私たちの典礼は今のこの世の私たちだけの祈りではなく、天上の典礼を前もって味わい、天上の方々と共に参加しているのです。私たちは主の栄光を賛美し、諸聖人を尊敬し、天上の方々との交わりに参加することを望み、永遠の命である救い主イエス様を待ち望むのです。

（つづく）